

今年の
テーマは

池波正太郎 真田太平記館 です!

信
州
う
え
だ

謎解きさんぽ

謎解きクロスワードに答えて
素敵な景品をもらっちゃおう!

解答受付・景品配布・問題掲出時間:午前10時から午後4時まで

参加
無料

開催期間 令和5年
**10月28日(土)・
29日(日)**

2日間

真田十勇士が
ご案内します

謎解きさんぽ中に
商店街のお店で
お買い物して、
その写真やレシートと一緒に
解答報告すると
いいことがあるかも!?

※各日先着30名(お子様のみ)

真田十勇士に
散りばめられた
ヒントを探し出し
謎を解こう!

素敵な景品
プレゼント!

クロスワードを
解いたら
上田商工会議所に
持ってきてね!

商店街を
歩いて
謎を解こう

主催/上田商工会議所

共催/上田市商店会連合会

協力/上田市・しなの鉄道(株)

お問合せ先 上田商工会議所「信州うえだ謎解きさんぽ」係

〒386-8522 上田市大手1-10-22 ☎0268-22-4500(平日のみ)



参加方法



- ★10月28日(土)・29日(日)の2日間、午前10時～午後4時の間に、商店街にある真田十勇士像(場所は表面マップ参照)それぞれに左記のような問題が計10問表示されています。
- ★1～10問の真ん中のマスに入る文字(ひらがな)を考えてください。【メモ欄】をご利用ください。
- ★10個のひらがなを並べ替えるとある言葉が完成し、そちらが答えになります。
- ★答えが分かりましたら、解答記入欄に答えを記入し、上田商工会議所までお持ちください。正解者の方に、その場でステキな景品をプレゼントいたします。
- ★10か所の問題は全て写真を撮っておくと後でも問題を見直すことができ、便利です。

10問の問題はこのパンフレットの表面に記載してある真田十勇士像に表示されています。

メモ欄

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

キリトリ線

解答記入欄 上の10文字を並べ替えよう！

お疲れ様でした！ 解答欄に記入して上田商工会議所にGO！

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(ヒント：あの有名な館)

アンケートにご協力ください！ ※各質問1つに○を付けてください

ご住所

1. 上田市
2. 上田市以外の長野県
3. 長野県以外()

性別

1. 男性
2. 女性

年代

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. ～19歳 | 4. 40～49歳 |
| 2. 20～29歳 | 5. 50～59歳 |
| 3. 30～39歳 | 6. 60歳～ |

上田商工会議所にて…

- ①事務局に解答用紙を提出(解答とアンケートへのご記入をお願いします。)
- ②正解者には景品をプレゼント

景品
プレゼント！

今回の謎解きさんぽは「池波正太郎 真田太平記館」がテーマ！

池波正太郎真田太平記館

上田の地に、池波家をはじめ多くの皆様のご協力を得て、平成10年(1998)、上田市が池波正太郎真田太平記館を建設しました。今年、開館25周年になります。そこでは『真田太平記』を中心に池波文学の一端を紹介するとともに、様々な企画展や講座などを開催しています。

池波さんは著書『わが家の夕めし』(講談社文庫)で、こう記しています。「別に真田家へ執着を持っていたわけではないが、いくつかの短篇を真田家から得るにつれ、当然、深い関心を抱くようになった。もともと信州が好きで、少年のころからよく出かけた。好きな風土が、私の小説を、こうして育ててくれたのかも知れぬ。今度、久しぶりに、上田や真田の町をたずねて見て、むかし見た風景が、それほどひどく破壊されていないのをよこんだ」

池波正太郎とは？

日本を代表する小説家の池波正太郎さんは、大正12年(1923)1月25日、東京浅草で生まれました。そう、今年は『生誕100年』という節目の年です。

池波さんは、昭和10年(1935)に小学校を卒業すると現物取引所田崎商店に勤め、半年後、兜町の株式仲買店の松島商店に移りました。12歳で実社会を経験…凄い！

池波さんは、信州の風土をこよなく愛し、真田家を素材にした多くの作品を発表しました。そのなかの『錯乱』では、第43回直木賞を受賞しています。それらの作品の集大成ともいえる『真田太平記』は、『週刊朝日』に昭和49年(1974)からおおよそ9年間連載された大長編小説。池波さんは、その取材で、しばしば上田市へ足を運んでいます。

上田の印象について、池波さんは「折にふれ、上田の人々の顔をおもい、上田の町をおもふことは私の幸福なのである」と述べています。

真田太平記って、なに？

前述のように、真田太平記は昭和49年(1974)から9年間にわたり『週刊朝日』に連載された池波さんの長編大河小説です。そこでは信州、上州にまたがる小さな領国を守る真田家の興亡を主軸に、戦国末期の様相が、雄大なタッチで描写されています。

真田家の当主で、まれに見る戦上手として異彩を放った真田昌幸。その父の意思を継ぎ、戦将として華々しく散っていった二男・幸村。父弟とは相反する道を敢えて選び、真田家を守り抜いた長男・信之(幸)。それぞれの生きざまが余すところなく描かれています。

そして、父子とともに活躍する草の者(忍者)たちの壮絶な闘い、さらに関ヶ原、大阪冬・夏の陣の模様や、戦いに挑んだ武将たちの姿が、克明に語られています。もっとも揺れ動いた時代の壮大なドラマ、池波作品の原点とも言える(真田もの)、その後に人気作となった(忍者物)の集大成といえる作品です。

今年、
池波正太郎
生誕100年

池波正太郎
真田太平記館も
開館25周年



主催／上田商工会議所 お問い合わせ：☎0268-22-4500(平日のみ)
共催／上田市商店会連合会 協力／上田市・しなの鉄道(株)